



令和4年7月5日
統合幕僚監部

(お知らせ)

ロシア海軍艦艇の動向について

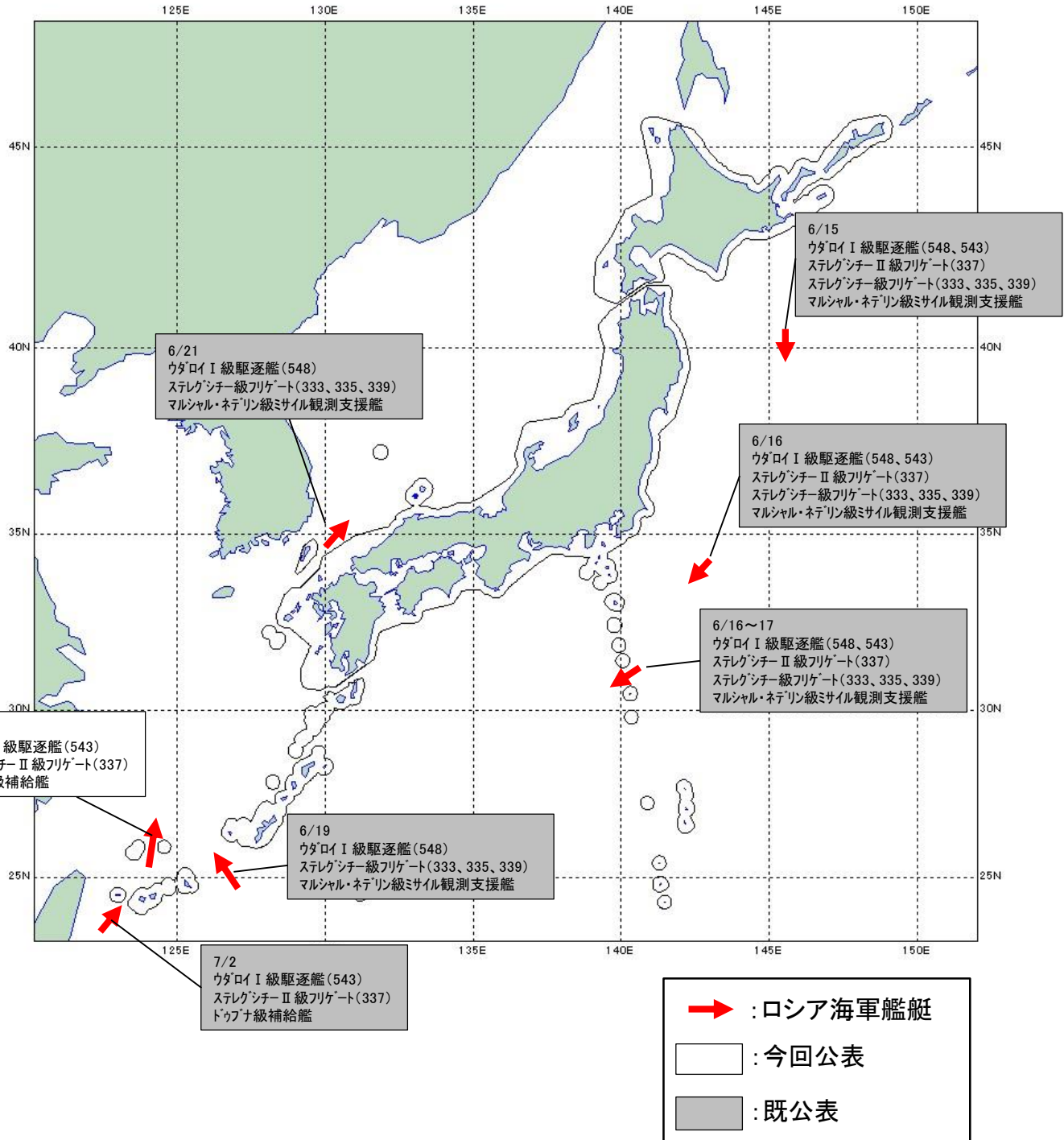
令和4年7月4日(月)午後7時頃、海上自衛隊は、久場島(沖縄県)の南東約50kmの海域において、同海域を北進するロシア海軍ウダロイI級駆逐艦(艦番号「543」)、ステレグシチーII級フリゲート(艦番号「337」)、ドゥブナ級補給艦の計3隻を確認した。

その後、これらの艦艇が久場島と大正島(沖縄県)との間の接続水域内を北進し、出域後、更に北東進して東シナ海に向けて航行したことを確認した。

なお、これらの艦艇のうちウダロイI級駆逐艦1隻及びステレグシチーII級フリゲート1隻は、6月15日(水)に襟裳岬(北海道)の南東約280kmの海域にて確認した後、6月16日(木)午前9時頃、犬吠埼(千葉県)の南東約180kmを南西進、同日午後7時頃、伊豆諸島の須美寿島と鳥島(東京都)との間の海域を南西進し、その後、ドゥブナ級補給艦と合流し、7月2日(土)、与那国島と西表島(沖縄県)との間の海域を北東進したものと同一である。

防衛省・自衛隊は、海上自衛隊第7護衛隊所属「しらぬい」(大湊)、第12護衛隊所属「あぶくま」(呉)、第1海上補給隊所属「ましゅう」(舞鶴)、及び第5航空群所属「P-3C」(那覇)により、情報収集・警戒監視を行った。

行動概要



ウダロイ I 級駆逐艦(543)



ステレグシチー II 級フリゲート(337)



ドゥブナ級補給艦

